

伝言板

No.22(H26.11)



NPO法人 北海道みなとの文化振興機構

もくじ

平成 26 年度活動報告

「支部長等会議」開催…………… 1

「みなとサポート事業」各支部の支援活動 …… 2

着ぐるみ（みなとのマスコット「ぼーとん」くん、
「べいくりん」ちゃん）貸し付け事業 …… 4

北海道開発局防災エキスパート（港湾・空港・漁港）

研修会などの開催について …… 5

助成事業の実施概要 …… 7

会員動向 …… 8

平成 26 年度「支部長等会議」開催

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構事務局の支部長会議は、平成 26 年 6 月 11 日(水)セントラル札幌北ビル(一社)寒地港湾技術研究センター会議室において開催されました。

支部長等会議は札幌の事務局と各支部の連絡を密とし業務の実施を円滑にすることを目的とし開催しております。

会議は、釧路、函館、苫小牧、札幌、室蘭の 5 支部の支部長並びに支部次長と札幌の事務局の出席により行われました。

開催にあたり中村理事長からの挨拶のあと議事に入りました。

議事項目と主な項目の概要は次の通です。

1. 事務局・各支部体制について
2. 事務局主要業務内容と行事日程について
3. みなとサポート業務支援実施計画、みなとサポート事業支援実績及びサポーター登録者の支援活動状況について
4. 港湾キャラクター（着ぐるみ貸付け事業）の貸し付け状況及び、貸付計画について
5. NPO オリジナルグッズの配布先予定などについて
6. 助成事業の応募要領・実施要領・応募状況について
7. 防災エキスパート登録状況、連絡体制について
8. 業務執行に係わるみなとサポーター要員や防災エキスパート要員の保険加入について

以上の議事について検討の外、実施状況等の報告があり有意義な意見交換がされ、会議は終了いたしました。



支部長会議

平成 26 年度「みなとサポート事業」 各支部の支援活動

この業務は、開発建設部が開催する「みなと見学会」、「みなとパネル展」、「アンケート調査」などの実施について、NPO に支援要望があったものから支援可能なものを選択し、NPO 会員の「みなとサポーター」が支援するもので、平成 20 年度から行っています。

今年度は、小樽、室蘭、函館、帯広の開発建設部が開催する「みなと見学会」「みなとパネル展」等を、6 月の「石狩湾新港みなと見学会」を皮切りに 6 港湾で実施しました。

内容は、石狩湾新港（3 日間）、小樽港（1 日）、室蘭港（1 日）、苫小牧港（2 日間）、函館港（3 日間）、十勝港（1 日間）。日数は 11 日間、人員は 17 人（延べ人数 22 人）。

札幌支部

① 石狩湾新港「みなと見学会」

実施日 6 月 11 日(水)、12 日(木)、16 日(月)

石狩市内の小学校の児童（3～5 年生）約 225 名を対象に、港湾業務艇「ひまわり」に乗船し、約 30 分港内を巡りながら港の様子を見学。

サポーター（2 人/日）は、乗降船時の誘導・警備、救命胴衣の着脱を支援しました。



② 小樽港「みなと見学会」 実施日 7 月 20 日(日)

「海の月間」関連事業の一環として開催される「マリン・フェスタ in 小樽」で、一般市民を対象に、港湾業務艇「ひまわり」に乗船し、港内を巡りながら港の様子を見学。5 航海を実施。

サポーター（4 人）は、乗降船時の誘導・警備、救命胴衣の着脱、及び記念グッズの配布をしました。



③ 北海道海洋深層水フェア

北海道の海洋深層水を使った商品を PR する「2014 年北海道海洋深層水フェア」が平成 26 年 10 月 11 日(土)午前 11 時から札幌駅前通地下広場 憩いの空間 (W1～W3) で開催しました。

北海道における海洋深層水の取水施設は、岩内町、八雲町(熊石地区)、羅臼町の 3 町に整備され、海洋深層水事業に取り組んでいますが、一般的には、未だ認知度が低く利活用拡大上の課題となっています。

このような状況から、海洋深層水及び海洋深層水を用いた商品の認知度を高め、地域振興を目的として、取水地 3 地区と(一社)寒地港湾技術研究センターの共催で、一般消費者を対象に塩、飲料水、味噌など 25 品の物販フェアを実施しました。

当 NPO 法人みなとの文化振興機構は、協賛での形でサポーター事業登録者 2 名が、物販、パンフレット及びアンケート調査票の配布に協力しました。



室蘭支部

- ① 室蘭港「海の日パネル展」 実施日 7月21日(月)
道の駅「みたら室蘭」で、みなとの歴史と役割のパネルを展示。
サポーター3名は来場者に記念グッズを配布。同時に港湾業務艇「みさご」によるポートウォッチングも行われ、参加した市民に記念グッズを配布しました。



苫小牧支部

- ① 苫小牧港「みなとパネル展」 実施日 7月5日(土)、6日(日)
「イオンモール苫小牧」においてパネル展が開催され、サポーター(2名/日)は訪れた市民にアンケートの配布・収集、警備、及び記念グッズの配布を行いました。



函館支部

- ① 函館港「みなとパネル展」 実施日 7月20日(日)、21日(月)
函館市国際水産・海洋総合研究センターで2日間、一般市民を対象に函館港の歴史や役割を説明したパネル展、及び、港湾業務艇「みずなぎ」に乗船し港内を見学しました。
サポーター(1名/日)は、来場者にアンケートを配布・収集、記念グッズの配布、展示品の説明、警備等及び乗降船時の誘導・警備の支援をしました。



- ② 函館港「みなと見学会」 実施日 7月26日(土)
「海の日」の記念事業の一環として、「函館港で活躍する官庁船見学会」が若松南ふ頭岸壁で一般市民を対象に行われました。船内見学のほか「函館港みなとパネル展」も同時に行われました。
さらに、港湾業務艇「みずなぎ」に乗船し、みなと見学会も行われました。
サポーター(2名)は、みなと見学者の救命胴衣の着脱、乗降船時の誘導・警備を支援。また、記念グッズの配布をしました。



釧路支部

- ① 十勝港「みなと見学会」 実施日 7月23日(水)
帯広市の生涯学習会会員40人が港湾業務艇「ふよう」に乗船し、約20分間海上見学を体験。また、出前講座では、十勝港の歴史・役割について説明がありました。
サポーター(2人)は、乗降船の誘導・警備・救命胴衣の着脱を支援しました。



平成 26 年度 着ぐるみ貸付事業

北海道のみなのキャラクター「ぼーとん」くん、「べいくりん」ちゃんの着ぐるみは、みなとが担う役割を多くの皆様にご理解いただくとともに海やみなとに集う皆様が楽しく過ごしていただくお手伝いキャラクターとして製作されました。

平成 11 年に 1 号を製作し、ご好評を得たことから平成 12 年に 2 号、平成 17 年に 3 号、平成 26 年 1 月に 4 号を製作、現在 4 組を保有し皆様にご利用いただいています。

海の上を自由に謳歌する「かもめ」を題材に「小さな赤ちゃんかもめ」をイメージしたとても愛くるしい着ぐるみです。

「ぼーとん」くん、「べいくりん」ちゃんは NPO 法人北海道のみなの文化振興機構が商標登録を行っています。

着ぐるみは、平成 18 年度まで無料貸し付け事業を実施していましたが、製作後年数を経るとともに色あせ、破損等による維持補修費がかさむことから平成 19 年度から有料とさせていただきます。

平成 26 年度の貸付状況は、大型旅客船寄港の歓迎式典やみなとパネル展等で利用いただきました。

利用予定のイベント等は 13 件でしたが、2 件が荒天等で中止となり、11 件(内 26 年 2 月 1 件)の利用となりました。

- ① 函館港 函館みなとパネル展
- ② 函館港 官公庁船見学会



客船「飛鳥」稚内港寄港歓迎式典

- ③ 石狩湾新港 みなと見学会
- ④ マリンフェスタ in 小樽
- ⑤ いしかり産業見本市
- ⑦ 苫小牧港 みなとパネル展
- ⑧ 苫小牧港 みなとフェステバル
- ⑨ 元気まちしらおい港まつり
- ⑩ 根室港 「海とみなと」パネル展
- ⑪ 「飛鳥」稚内寄港歓迎式典

着ぐるみは、イベントに参加した子供達と写真撮影や握手をするなど大変好評でした。

なお、当 NPO 法人は、平成 27 年度の貸し付け事業を実施いたしますので、ご希望の方は、ご連絡ください。

また、夏期間は、イベント集中時期でもありご希望にそえない場合もありますのでご了承ください。



マリンフェスタ in 小樽



石狩湾新港みなと見学会

平成 26 年度 北海道開発局防災エキスパート（港湾・空港・漁港）

防災エキスパート制度の概要

○防災エキスパート制度

- ・港湾・空港・漁港施設の整備・管理等について専門的知識や経験を保有し、大規模災害発生時に港湾・空港・漁港施設等に係る震災情報の迅速な収集等の支援活動の自主的かつ無報酬で行う者として登録された者。

○大規模災害

- ・港湾・空港・漁港所在地において、震度 6 弱以上の地震が発生した場合。
- ・地震、風水害等により大規模な災害が発生した場合。

○防災エキスパートの業務

- ・被災状況詳細調査、施設の利用可否、利用制限方法、代替岸壁の検討等。
- ・被災状況や復旧方法にかかわる関係機関への情報提供等。
- ・応急復旧・災害復旧工事にかかわる諸手続き、査定基準、復旧方法の検討等。

平成 26 年度研修会の開催について（第 7 回）

今年度の研修は 10 月 2 日（木）札幌第 1 合同庁舎において開催しました。研修に先立ち新規登録者認定式行われ、3 名の方が北海道開発局港湾空港部川合紀章港湾空港部長から登録通知証の公布を受けました。今年度は 4 名の方より登録の取消し希望があり、エキスパート登録者は 28 名となりました。

研修の冒頭、川合港湾空港部長から、「近年、災害が激甚化しており、有事には防災エキスパートの方々の協力を得ながら施設の早期復旧を図っていきたい」と挨拶がありました。

続いて港湾建設課岩田第 1 係長から「防災エキスパートの役割について」と題して、制度の解説、防災関係情報の説明がありました。

後半は今年度初の試みとして、道路防災エキスパートの渋田貢司部長（（一財）北海道道路管理技術センター）、河川防災エキスパートの江幡一男部長（（一財）北海道河川財団）を迎え、両機関の出動時の活動状況や研修、訓練等の取組について講演をいただきました。

その後、両講師を交え「港湾・空港・漁港の防災エキスパートの今後活動の在り方」をテーマに A 班、B 班分かれて討論しました。活動実績のある両部門を参考に港湾部門のエキスパート制度をいかに機能させ行くかについて活発な意見が交わされました。

最後に伊藤港湾建設課長が閉会挨拶の中で、意見交換会の討論を総括し、今後に向けた検討課題として・港湾部門において、具体的な作業内容のイメージができないとの意見があることから、今回は両部



認定式後の幹部との写真



意見交換会

門の活動状況を伺った。それらを参考にエキスパートの方々にどの部分の協力をお願いするのか、各開建の意見を聞きながら検討を進めていきたい。

- ・ 現行の出動規定は、大規模災害発生後ということであるが、両部門のような災害発生前にも出動要請ができるような柔軟な体制作りも検討したい。又各地区のエキスパートと直轄職員との連携強化を図ることも重要であることから、各地区での訓練、意見交換会等の開催を進める。

北海道開発局防災エキスパート（港湾・空港・漁港）地区別意見交換会

北海道開発局防災エキスパート（港湾・空港・漁港）は室蘭開発建設部の要請をうけ、管内の港湾・漁港の現状の把握、防災関連情報の提供、直轄職員と地区別（【南地区】（函館・室蘭））防災エキスパートとの意見交換会を開催しました。尚、今回は初めての開催となることから2地区（室蘭港、苫小牧港）で実施しました。

室蘭港の意見交換会は平成26年9月25日（木）に開催しました。宮部室蘭開発建設部次長の開催挨拶

あり、室蘭港湾事務所所轄の追直漁港沖合人工島、室蘭港築地地区岸壁（西-9m）、広域防災フロート、崎守地区臨港道路の各施設を視察しました。

引き続き、意見交換会に入り、伊藤築港課長から、室蘭港船籍の広域防災フロートの震災時派遣概要の説明、防災対策専門官から、昨今の管内災害発生状況及び、災害対応の説明、当防災エキスパート事務局からは、防災エキスパートの制度要綱、活動要領、経緯・活動報告等を説明した後、意見交換に入りました。双方の意見では、出動要請側、派遣側とのコミュニケーションの構築が重要との意見で一致しました。

苫小牧港の意見交換会は平成26年10月16日（木）に開催しました。浦河港湾事務所職員も参加して、苫小牧港西港区岸壁（西-9m）耐震施設、白老港第3商港区の岸壁（-11m）施設を視察しました。引き続き意見交換会を実施し、内容は、「室蘭港」で行われた内容とほぼ同一ですが、意見として防災エキスパートに「何をさせていただくか」、又、「何ができるのか」などについての意見が多くあり、このことを今後の課題として議論して行くことを確認しました。



室蘭港視察



苫小牧港視察



室蘭地区意見交換会



苫小牧地区意見交換会

平成 26 年度 助成事業の実施概要

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構では、道内のみなとまちの活性化をめざし企画・実施されるイベント等、様々な事業を支援し、「みなとまち活性化」に寄与することを目的とした助成事業を平成 20 年度から始めました。

平成 26 年度は、開発建設部の「みなとの相談窓口」等を通じて推薦をいただくと共に、当 NPO 法人のホームページで 3 月下旬より募集要領を公表しました。4 月上旬から 5 月上旬にかけて公募し、16 団体から 16 件の申請がありました。

採択事業の決定は、5 月 22 日「評価審査委員会」を札幌市で開催しました。委員は学識経験者 2 名と当法人の理事長、事務局長の 4 名で、各団体から提

出された申請活動に関する応募資料について審査を行いました。審査の選考基準は、事業の目的が「みなとまちの活性化への効果が期待できる事業」とし、①みなとへの理解と利用促進に係る広報・体験学習活動 ②海岸・みなとの清掃、植樹等の美化活動 ③海洋及びみなとに係る教育、文化活動であること、地域住民との連携と広がり程度、また、過去の開催実績等も合わせて審査を行いました。

審査委員会は、申請のあった 16 件の審査を行った結果 15 件の事業を採択しました。

採択結果は、5 月 26 日に各団体へ文書により通知しました。なお、助成金額は 50 千円、100 千円、150 千円の区分で配分しました。

採択した活動名や団体名並びに開催日は以下のとおりです。

順不動

	活動名	団体名	開催日時
1	第 8 回・いかだレース大会	小樽築港バイエリア委員会	8 月 17 日
2	網走港クルーズ船入港歓迎事業	網走港振興協議会	7 月 3 日～9 月 18 日
3	2014 年 第 21 回 海の日コンサート	北海道みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭	7 月 21 日
4	みなとまつり「漁」	鴛泊港活性化推進協議会	7 月 20 日
5	北前船公演「歴史と音楽のひととき」	女性みなと街づくり苫小牧	9 月 21 日
6	WAKKANAI みなとコンサート 2014	稚内のみなとを考える女性ネットワーク	降雨災害発生で開催中止 8 月 24 日
7	市制 60 周年記念海洋コンサート 「星霜—新たな羽ばたき」	みなと・まちづくり女性ネットワークオホーツク	8 月 2 日
8	釧路クルーズ船歓迎おもてなし事業	釧路港おもてなし倶楽部	7 月 1 日～9 月 25 日
9	黄花コスモス街花いっぱいプロジェクト	蒼い海	7 月 2 日～
10	函館名物「イカめし」豆本の作成	みなとまちづくり女性ネットワーク函館	7 月 14 日
11	むろらん港鉄人船漕ぎ大会	むろらん船漕ぎ大会実行委員会	7 月 20 日
12	みなと南極まつり 稚内副港ボートレース 2014	稚内副港ボートレース実行委員会	8 月 3 日
13	釧路港船漕ぎ大会	釧路港船漕ぎ大会実行委員会	8 月 2 日
14	函館港まつり 東北支援 函館ペリーボート競漕	函館ペリーボート競漕実行委員会	8 月 3 日
15	苫小牧はすかつおボートレース	苫小牧港はすかつおボートレース実行委員会	8 月 2 日



北前船公演「歴史と音楽のひととき」



函館ペリーボート競漕



■ 会員動向

このたび竹内珠巳会員が紋別市の「市政功労者」として表彰を受けました。この表彰は、紋別市の市制施行 60 周年を記念して行われた特別顕彰者に対して行われたものであり、みなとまちづくり女性ネットワーク・オホーツク代表としてのこれまでの取り組みが認められました。平成 18 年から取り組みが行われている港の花いっぱい運動は、紋別港の景観を花で彩る臨港道路の法面植栽をはじめ大型プランターによる植栽など、各団体への呼びかけにより多くの参加者を得て、息の長い活動が続けられています。

景観、環境、歴史文化など女性ならではの視点で、みなとまちおこし、みなとの活性化等々を目的に賑わいの創出に地域のオピニオンリーダーとして幅広

く活動されていますが、平成 22 年には、みなとまちづくりの交流拠点「山桜桃」を開店するなど精力的な活動が続いています。今回の受賞改めてお祝い申し上げます。



お願い

当機構事務局へのご連絡は、下記のいずれかをお願いします。

Tel : 011-727-3710 Fax : 011-727-3710 E-mail : bunka-npo@kanchi.or.jp

なお、事務局は、常駐体制でないことから、ご返事を差し上げるまで一週間程お時間をいただくことをございますので、何卒ご了承をお願いします。

また、当機構の活動状況は、ホームページでご覧になることができます。

<http://www.minatobunka-npo.info/>

特定非営利活動法人
北海道みなとの文化振興機構